

第4学年「算数」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果**
- かけ算の筆算を正確に解ける児童が多い。
 - 時刻については概ね理解できている。
- 課題**
- ▼ 時計・量感の学習に苦手を感じる児童がいる。
 - ▼ 文章から立式に必要な情報を読み解くことが苦手な児童が多数いる。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 分数や少数、がい数、の概念を理解して正確に計算する力。
- ◇ 垂直、平行、面積の求め方、直方体や立方体について理解し、正しく作図する力。
- ◇ 算数の問題について、見通しをもって、筋道を立てて自分の考えをもつ力。
- ◇ 数量や図形の学習に粘り強く取り組み、主体的に生活や学習に生かそうとする力。

具体的な改善策

主体的に学習に取り組む態度のための工夫

- 既習事項の活用が有効であることを意識して課題に取り組むよう指導する。

言語活動の工夫

- どの児童も自分の考え話せるように、ペア、小グループ、全体など、場の設定を工夫をする。

ICT活用の工夫

- デジタル教科書を使用したり、実物投影機を使ったりして、作図の手順を確認し定着を図る。
- タブレットを活用して計算の習熟を図る。

課題解決力育成の工夫

- 自力解決の場面で、前時までのノートを見返し、既習事項で活用できることを明らかにする。

達成目標

- 小数、分数の計算が8割程度正確にできる。
- 用具の使い方に慣れ正しく作図ができる。